

平成 30 年度 年 報



2 0 1 9

岐阜県文化財保護センター

目 次

1 センターの概要	1
2 事業実績	2
3 発掘作業	3
4 整理等作業	6
5 発掘調査報告書	9
6 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査	9
7 普及活用事業	10
8 研究・支援事業	13
9 普及活用事業の記録	13

表紙図版

洞第2古墳群 4号古墳出土遺物（古墳時代）

1 センターの概要

名 称

岐阜県文化財保護センター

設置場所

岐阜県文化財保護センター
同 飛騨駐在事務所
同 飛騨国府事務所

岐阜市三田洞東 1-26-1
高山市丹生川町坊方 2109
高山市国府町名張字峠 1425-1

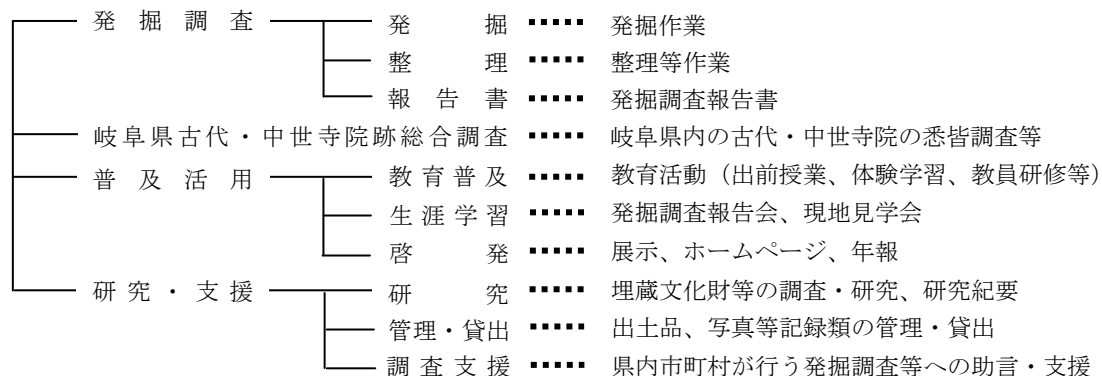
設置根拠

岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する条例（昭和36年条例第4号）

所掌事務

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究に関すること
- (2) 埋蔵文化財に係る開発事業の調整に関すること
- (3) 発掘調査技術の指導及び研修に関すること
- (4) 出土品の保存処理及び収蔵に関すること
- (5) 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行に関すること
- (6) 文化財の保護思想の普及に関すること
- (7) 前各号に定めるもののほか、岐阜県文化財保護センターの事業に関すること

事業体系図



職員名簿

課	職名	氏名
所長	所長	野村 幹也
総務課	総務課長	加藤 武裕
	管理調整係長	臼井 佳代
	主査	木嶋 祐子
	主事	森 理恵
	雇員	春日 啓子
調査課	調査課長兼 飛騨調査係長	春日井 恒
調査第一係	課長補佐兼 調査第一係長	鷲見 博史
	主査	澤村 雄一郎
	主査	笠井 慎吾
	主査	佐藤 恵太
	主査	吉村 晶

課	職名	氏名
調査第二係	調査第二係長	三輪 晃三
	主査	杉山 忠弘
	主事	小林 新平
	主事	辻田 真穂
	主事	平田 篤志
調査第三係	課長補佐兼 調査第三係長	山本 厚美
	主査	佐竹 正憲
	主査	加中 雅章
	主査	井手 大介
	主事	磯貝 龍志
飛騨調査係	雇員	澤井 理恵
	主査	長谷川 幸志
	主査	三島 誠
	主任	柳坪 武志
	雇員	杉田 聖子

2 事業実績

これまでの成果

発掘調査	調査遺跡数 183 遺跡（古墳群・古窯跡群は 1 遺跡として計上） 調査面積 711,471.2 m ² 発掘調査報告書 142 集
発掘調査報告会	平成 5 年度から毎年開催
タイムスリップ探検隊	平成 4 年度から毎年開催
発掘速報展	平成 8 年度から 26 年度まで開催（平成 22 年度から岐阜県博物館と共催）

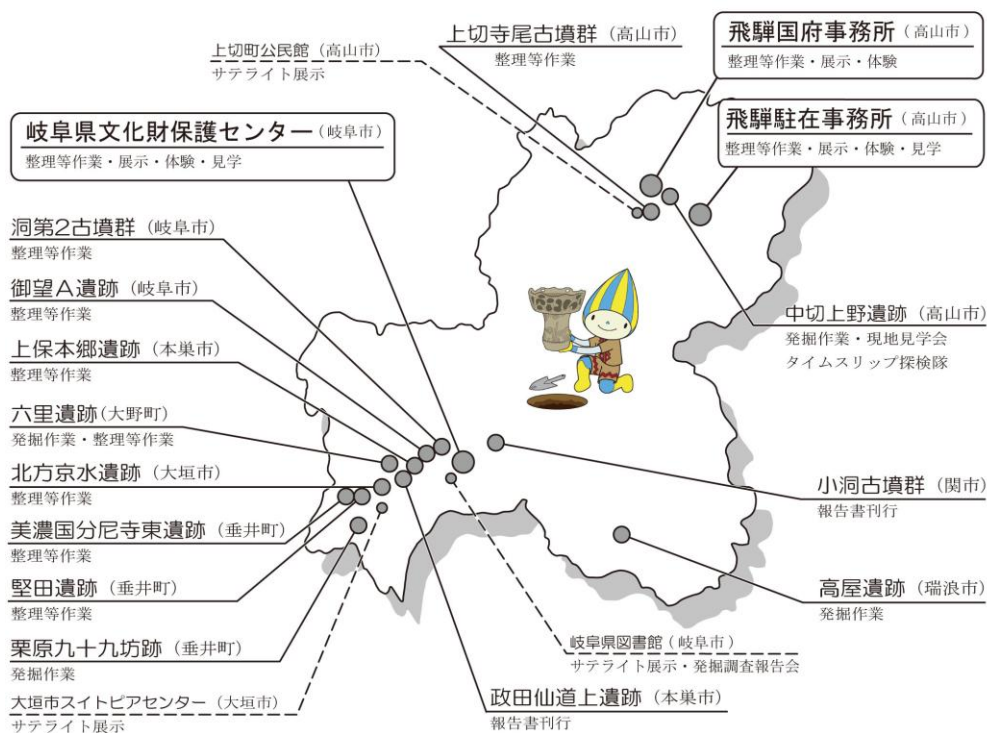
【これまでの主な発掘調査事業】

調査原因	調査年度	主な遺跡
徳山ダム	3～18	戸入村平遺跡(揖斐川町)、塚奥山遺跡(揖斐川町)
東海北陸自動車道	3～9	西ヶ洞遺跡(郡上市)、勝更白山神社周辺遺跡(郡上市)
東海環状自動車道	4～現在	柿田遺跡(可児市・御嵩町)、佐口遺跡(美濃加茂市)、 重竹遺跡(関市)、荒尾南遺跡(大垣市)、北方京水遺跡(大垣市)、 上保本郷遺跡(本巣市)、洞第 2 古墳群(岐阜市)
中部縦貫自動車道	13～現在	上岩野遺跡(高山市)、赤保木遺跡(高山市) 野内遺跡(高山市)
丹生川ダム	5～8	西田遺跡(高山市)、カクシクレ遺跡(高山市)
県工業団地造成		
・VRテクノジャパン	5～8	船山北遺跡(各務原市)、船山北古墳群(各務原市)
・ソフトピア	5～7	今宿遺跡(大垣市)
・関テクノハイランド	8～11	砂行遺跡(関市)、深橋前遺跡(関市)、南青柳遺跡(関市)

平成 30 年度事業概要

岐阜県古代・中世寺院跡総合調査

古代・中世寺院の悉皆調査（西濃地区を中心とした主要寺院の測量調査等）



3 発掘作業

たかや 高屋遺跡

所在地 瑞浪市土岐町地内
立地 河岸段丘
事業名 国道19号瑞浪恵那道路事業
事業者名 国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所
調査期間 平成30年4月23日～平成30年8月8日
調査面積 1,196.0㎡
種別 散布地、集落跡
時代 縄文時代、奈良時代、平安時代、中世
主な遺構 掘立柱建物、溝、柱穴など
主な遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中近世陶磁器、木製品など

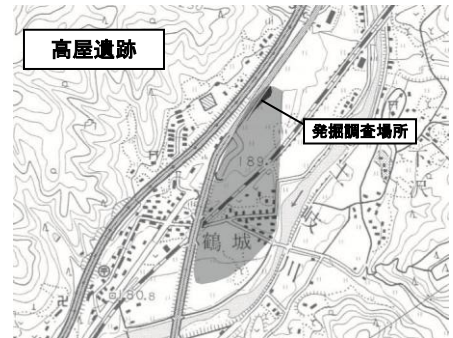
調査概要

当遺跡は、瑞浪市の中央部を東西に流れる土岐川の右岸に位置し、土岐川によって形成された河岸段丘の段丘面上に立地する。平成21年度に瑞浪市教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査では、石棒、須恵器、灰釉陶器、山茶碗などが採集されており、縄文時代・奈良時代・平安時代・中世の散布地とされてきた。

今年度の調査では、古代と推測される掘立柱建物4軒、溝2条のほか、耕作痕跡と思われる溝状遺構、柱穴、土坑を確認した。遺物は須恵器や土師器が多く出土しており、墨書土器も数点確認した。また、溝からは横樋と考えられる木製品も出土した。掘立柱建物は発掘区外に広がると考えられるが、発掘区中央部にまとまっており、集落を形成していたと考えられる。

なかぎりうわの 中切上野遺跡

所在地 高山市中切町地内
立地 丘陵地
事業名 平成30年度中部縦貫自動車道高山清見道路事業
事業者名 国土交通省中部地方整備局高山国道事務所
調査期間 平成30年5月8日～平成30年12月7日
調査面積 2,550.0㎡
種別 集落跡、古墳
時代 縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代
主な遺構 竪穴建物、古墳、土坑墓など
主な遺物 縄文土器、須恵器、灰釉陶器、石器、金属製



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「瑞浪」に一部加筆



高屋遺跡 発掘区全景



溝 横樋出土状況



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「高山」
「三日市」「飛騨古川」「町方」に一部加筆

品など

調査概要

当遺跡は、川上川左岸の高山盆地を形成する丘陵部の緩傾斜地に立地する。平成8年度に高山市教育委員会が発掘調査を実施し、縄文時代の集落跡などが確認された。当センターが実施した平成29年度の発掘調査では縄文時代の竪穴建物23軒、弥生時代の土坑墓1基、古墳時代初め頃と考えられる方形周溝墓1基などを確認したことから、縄文時代は居住域、弥生時代・古墳時代は墓域として利用されていたことが明らかになった。今回の発掘調査場所は、平成29年度発掘区の西側にあたり、発掘区西端には中切上野5号古墳が所在する。

今年度の調査では、縄文時代の竪穴建物38軒、土坑墓21基などを確認した。竪穴建物は、南側の傾斜地を中心に縄文時代前期後半22軒、中期後半16軒がある。前期後半の竪穴建物は平成8年度及び29年度の調査でも確認していることから、遺跡の立地する傾斜地南部を中心に前期後半の集落が広がることが判明した。中期後半の竪穴建物は、平成29年度の調査成果と合わせて、傾斜地南西部を中心に立地することを確認した。

中切上野5号古墳は、今回の調査の結果、方形の墳丘とその周囲を巡る溝、墳丘のほぼ中央で埋葬施設と考えられる土坑1基で構成される。遺構に関連する遺物が出土しなかったため築造時期は不明であるが、平成29年度の調査で同様な遺構を確認していることから、古墳時代初め頃と考えられる。

ろくり 六里遺跡

所在地 揖斐郡大野町小衣斐地内
立地 沖積平野
事業名 県単道路新設改良事業（主）岐阜県南大野線下磯～麻生工区
事業者名 岐阜県揖斐土木事務所
調査期間 平成30年5月8日～平成30年8月1日
調査面積 469.0㎡
種別 集落跡
時代 古墳時代、奈良時代、平安時代、中世
主な遺構 竪穴建物、掘立柱建物、柱穴、溝、土坑など
主な遺物 土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、中世陶磁器、石器など

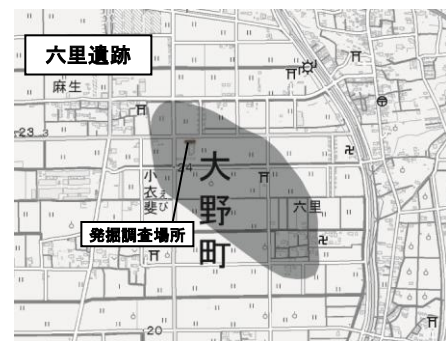
調査概要



中切上野遺跡 発掘区全景



竪穴建物 完掘状況



遺跡の位置 国土地理院発行1:25,000地形図「池野」「北方」に一部加筆



六里遺跡 発掘区全景

当遺跡は、揖斐川と根尾川が形成した扇状地上に立地しており、遺跡の西南西約 0.3 kmには古代寺院である大隆寺跡が所在する。平成 29 年度に当センターが実施した発掘調査では、古墳時代後期の竪穴建物や掘立柱建物、溝などを確認した。

今年度の調査では上下 2 面の調査を行った。第 1 調査面では中世以降と考えられる溝や土坑、第 2 調査面では古墳時代後期を中心とする竪穴建物・掘立柱建物・溝等を確認した。これらのうち、幅約 2.0mの東西方向に流れる溝からは、土師器、須恵器等がまとまって出土した。建物跡の時期は、平成 26・29 年度調査で確認した遺構と同様である。そのため、発掘区周辺に古墳時代後期の集落が展開していたと考えられる。



溝 遺物出土状況

くりはらくじゅうくぼうあと 栗原九十九坊跡

所在地	不破郡垂井町栗原地内
立地	山地
事業名	公共治山事業治山施設機能強化事業
事業者名	岐阜県西濃農林事務所
調査期間	平成 30 年 7 月 2 日～平成 30 年 9 月 11 日
調査面積	442.0 m ²
種別	社寺跡
時代	中世
主な遺構	溝、土坑
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、金属製品など

調査概要

当遺跡は、栗原山の中腹及び山麓に立地する中世寺院群である。清水寺跡を含む東山麓の広い範囲で人工的な平坦面や切通しが確認できる。また、山頂部の傾斜面には五輪塔などの石造物が確認でき、墓域が展開していた可能性がある。

今回の発掘場所は、宝治元（1247）年以前に創建され昭和 48 年に焼失した清水寺跡に近接し、その前身寺院が所在する可能性がある平坦面に隣接する。平成 29 年度に県文化伝承課が行った試掘・確認調査では、古代から中世と考えられる遺構・遺物を確認した。今年度は 442 m²の本発掘調査を実施し、東西方向の溝 1 条、大型の土坑等を確認している。主に中世の土師器、陶器が出土し、少数ではあるが灰釉陶器も出土した。発掘区周辺で古代から人々の生活が営まれた可能性がある



遺跡の位置 国土地理院発行 1:25,000 地形図「大垣」「養老」に一部加筆



栗原九十九坊跡 発掘区全景



溝 完掘状況

4 整理等作業

遺跡名等	調査の概要と成果	主な遺構	主な遺物
<p>かみのほ ほんごう</p> <p>上保本郷遺跡</p> <p>所在地 本巢市上保地内</p> <p>事業名〔事業者名〕 平成30年度東海環状自動車道事業〔国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 8,000㎡/17,167.8㎡</p> <p>発掘調査期間 平成27年5月7日～平成27年12月10日 平成28年5月2日～平成28年12月19日 平成29年5月8日～平成29年12月11日</p>	<p>当遺跡は、古墳時代から中世にかけての墓域、生産遺跡(鍛冶遺跡)、集落跡である。平成27・28・29年に発掘作業を実施し、発掘区は北東から南西にかけて21地点に分かれる。今年度は主に中央部から南西部の地点を対象とし、出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、発掘区のほぼ中央に位置する13地点では、2基の炉をもつ堅穴建物から砥石、釘など鍛冶に関わる遺物が出土した。南西部の12地点では銅滴が出土し、羽口やるつぼには亜鉛が付着していた。これらのことから集落内で鍛冶や真鍮製品の加工が行われたと考えられる。また、同じ12地点から美濃国刻印須恵器、石硯などが出土したことから、役所などの公的な施設や役人の住居が存在したことも想定される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○古墳時代 ・古墳 ・土坑 ・溝 ○古代 ・土坑 ・溝 ・鍛冶関連遺構 ○中世 ・堅穴建物 ・掘立柱建物 ・土坑 ・溝 ・焼土遺構 ・耕作跡 ・鍛冶関連遺構 	<ul style="list-style-type: none"> ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・中近世陶磁器 ・土製品 ・石器、石製品 ・金属製品 ・鍛冶関連遺物 など
<p>ごも</p> <p>御望A遺跡</p> <p>所在地 岐阜市御望地内</p> <p>事業名〔事業者名〕 平成30年度東海環状自動車道建設〔国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 1,866㎡/1,866㎡</p> <p>発掘調査期間 平成28年5月17日～平成28年12月9日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代前期から古代にかけての集落跡である。平成28年度に発掘作業を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、当該地における土地利用の変遷をたどることができた。縄文時代前期から古代にかけて断続的に集落が営まれており、遺構の検出状況や遺物の出土量から縄文時代前期後葉と古墳時代後期に特に人々が活発に活動していたと考えられる。縄文時代前期後葉の土器は、西日本系、東日本系、在地系のものからなり、表面に赤彩を施すものも認められた。古墳時代後期の須恵器には、甗や横瓶といった一般集落ではあまり見られない遺物も含まれる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代前期 ・堅穴建物 ・土坑墓 ○縄文時代中期 ・堅穴建物 ○弥生時代後期～古墳時代前期 ・堅穴建物 ○古墳時代後期 ・掘立柱建物 ・堅穴建物 ○古代 ・堅穴建物 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器 ・弥生土器 ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・山茶碗 ・中近世陶磁器 ・石器、石製品 ・金属製品
<p>ほらだい</p> <p>洞第2古墳群</p> <p>所在地 岐阜市洞北山地内</p> <p>事業名〔事業者名〕 平成30年度東海環状自動車道建設〔国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 2,640㎡/6,640㎡</p> <p>発掘調査期間 平成27年5月20日～平成27年12月1日 平成28年5月23日～平成28年11月16日</p>	<p>当遺跡は、古墳時代後期の横穴式石室を有する古墳を中心とする古墳群である。平成27・28年度にかけて発掘作業を実施し、平成29年度から整理等作業を実施した。今年度は遺構及び遺物の挿図作成作業や写真図版作業、報告書原稿執筆作業及び編集作業などを実施した。</p> <p>整理等作業の結果、古墳のうち横穴式石室を有するものは、6世紀末から7世紀にかけて築造されたと考えられ、そのうち1基は追葬を含め3回利用されていることがわかった。また、木棺直葬の古墳1基からは、鉄剣や県内では2例目となる提砥1点が出土した。古墳時代以外にも、縄文時代から中世にかけての遺構を確認しており、当該地の土地利用の変遷をたどることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代早期 ・焼礫集積土坑 ・炉跡 ○弥生時代末～古墳時代初頭 ・堅穴建物 ○古墳時代中期～後期 ・古墳 ○古代 ・配石遺構 ○中世以前 ・道路状遺構 ・溝 ・平場 ・火葬施設 ・土坑 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥生土器 ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・中近世陶磁器 ・石器、石製品 ・金属製品
<p>かみぎり てらお</p> <p>上切寺尾古墳群</p> <p>所在地 高山市上切町地内</p> <p>事業名〔事業者名〕 平成30年度中部縦貫自動車道高山清見道路建設〔国土交通省中部地方整備局高山国道事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 2,000㎡/10,102㎡</p> <p>発掘調査期間 平成27年8月5日～平成28年11月20日 平成28年5月9日～平成28年11月21日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代から古代にかけての墓域、集落跡である。平成27・28年度に発掘作業を実施し、平成29年度から整理等作業を実施した。発掘区はA・B・C・Dの4地点に分かれる。今年度はこのうちD地点を対象とし、出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、遺構及び遺物の挿図作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。</p> <p>D地点では、尾根から南向きの傾斜地にかけて墳丘と周溝及び埋葬主体部で構成される41基の「古墳」を確認していたが、整理作業の結果、これらの遺構から出土した土器の中に弥生時代後期から古墳時代初頭にかけてのものが認められ、重複状況から、その多くが当該期の遺構である可能性が高まった。出土した土器は、東海地方や北陸地方の特徴を持つものがあり、両地域の交流を考える上でも貴重な成果と考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代 ・堅穴建物 ・土坑 ○弥生～古墳時代 ・古墳 ・土坑 ○古代 ・堅穴建物 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器 ・弥生土器 ・土師器 ・須恵器 ・灰釉陶器 ・石器、石製品

遺跡名等	調査の概要と成果	主な遺構	主な遺物
<p>きたがたきょうずい</p> <p>北方京水遺跡</p> <p>所在地 大垣市北方町</p> <p>事業名【事業者名】 平成30年度広域河川改修事業〔岐阜県大垣土木事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 4,000㎡/5,166.6㎡</p> <p>発掘調査期間 平成29年5月26日～平成29年12月15日</p>	<p>当遺跡は、古代から中世後期にかけての集落跡である。平成29年度に発掘作業を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、報告書原稿執筆作業などの整理等作業を実施した。整理等作業の結果、古代から中世前期には遺物を多量に含む大型の土坑や掘立柱建物、中世後期には掘立柱建物や井戸を溝によって囲む屋敷地が存在していたことが分かった。遺物は中世陶磁器が中心だが、硯や墨書土器、内面に朱墨や漆が付着した山茶碗、風炉等、一般の集落では認められないような遺物が出土した。</p>	<p>○古代</p> <ul style="list-style-type: none"> 掘立柱建物 溝 <p>○中世</p> <ul style="list-style-type: none"> 掘立柱建物 柵 井戸 溝 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 須恵器 灰釉陶器 山茶碗 中近世陶磁器 瓦質土器 土製品 石製品 木製品 金属製品
<p>かただ</p> <p>堅田遺跡</p> <p>所在地 不破郡垂井町平尾地内</p> <p>事業名【事業者名】 平成26・27年度公共社会資本整備総合交付金事業〔岐阜県大垣土木事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 3,679.4㎡/3,679.4㎡</p> <p>発掘調査期間 平成26年7月1日～平成26年11月28日 平成27年7月3日～平成27年12月16日</p>	<p>当遺跡は、縄文時代晩期から近世にかけての集落跡である。平成26年度と平成27年度に発掘作業を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。発掘区はA～E地点に分かれ、いずれの地点でも古墳時代から中世前期にかけての遺構を検出した。少数だが、縄文時代晩期と近世の遺構も確認した。輔の羽口や鉄滓が出土することから、周辺に鍛冶関連遺構があった可能性がある。また、美濃国分寺・国分尼寺との関連が想定される遺構は確認できなかったが、墨書土器や転用硯、火舎香炉の蓋などが出土した。</p>	<p>○縄文時代晩期</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑 <p>○古墳時代・古代</p> <ul style="list-style-type: none"> 竪穴建物 掘立柱建物 柵 柱穴 溝 <p>○土坑</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑 <p>○中世</p> <ul style="list-style-type: none"> 柵 溝 <p>○土坑</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑 <p>○近世以降</p> <ul style="list-style-type: none"> 溝 土坑 	<ul style="list-style-type: none"> 縄文土器 土師器 須恵器 灰釉陶器 中近世陶磁器 中国産陶磁器 土製品 石器、石製品 金属製品 <p>など</p>
<p>みのこくぶん にじひがし</p> <p>美濃国分尼寺東遺跡</p> <p>所在地 不破郡垂井町平尾地内</p> <p>事業名【事業者名】 平成26年度公共社会資本整備総合交付金事業〔岐阜県大垣土木事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 388㎡/388㎡</p> <p>発掘調査期間 平成26年7月1日～平成26年11月28日</p>	<p>平成26年度に発掘作業を実施し、古代から近世にかけての溝や土坑などの遺構を確認した。今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。整理等作業の結果、出土遺物の中心は7・8世紀と近世後期のもので、当該期を中心に、遺跡周辺で人々が活動していたことを確認した。美濃国分尼寺との関連が想定される遺構は確認できなかった。</p>	<p>○古代</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑 <p>○中世</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑 <p>○近世以降</p> <ul style="list-style-type: none"> 溝 土坑 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 須恵器 灰釉陶器 中近世陶磁器 <p>など</p>
<p>ろくり</p> <p>六里遺跡</p> <p>所在地 揖斐郡大野町小衣斐地内</p> <p>事業名【事業者名】 県単道路新設改良事業（主）岐阜県南大野線下磯～麻生工区〔岐阜県揖斐土木事務所〕</p> <p>整理面積/調査面積 1,948.2㎡/1,948.2㎡</p> <p>発掘調査期間 平成29年5月8日～平成29年11月30日 平成30年5月8日～平成30年8月1日</p>	<p>当遺跡は、古墳時代後期を中心とする集落跡である。平成29・30年度に発掘調査を実施し、今年度は出土遺物の接合作業、復元作業、実測作業、実測図トレース作業、挿図・図版作成作業、報告書原稿執筆作業などを実施した。整理等作業の結果、第1調査面では条境の溝の可能性のある遺構を確認した。溝は東西方向に延びる。第2調査面では古墳時代後期の竪穴建物や掘立柱建物、溝などを確認した。竪穴建物と溝から出土する土器はほぼ同時期のものであるが、建物と溝は重複しており、建物廃絶後にあまり時期を隔てず溝を掘削した可能性がある。</p>	<p>○古墳時代後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 竪穴建物 掘立柱建物 溝 土坑 柱穴 <p>○中世以降</p> <ul style="list-style-type: none"> 土坑列 溝 土坑 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 須恵器 灰釉陶器 中近世陶磁器 中国産陶磁器 土製品 石製品 金属製品 木製品 <p>など</p>



北方京水遺跡接合作業風景



美濃国分尼寺東遺跡遺物実測作業風景



上保本郷遺跡拓本作業風景



御望A遺跡補強・彩色作業風景



六里遺跡出土遺物



堅田遺跡出土遺物



上切寺尾古墳群出土遺物

5 発掘調査報告書

報告書名	事業名[事業者名]	発行年月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第141集 <small>まさだせんどうえ</small> 政田仙道上遺跡	東海環状自動車道建設[国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所]	平成31年2月
岐阜県文化財保護センター調査報告書第142集 <small>こぼら</small> 小洞古墳群	東海環状自動車道建設[国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所]	平成31年2月

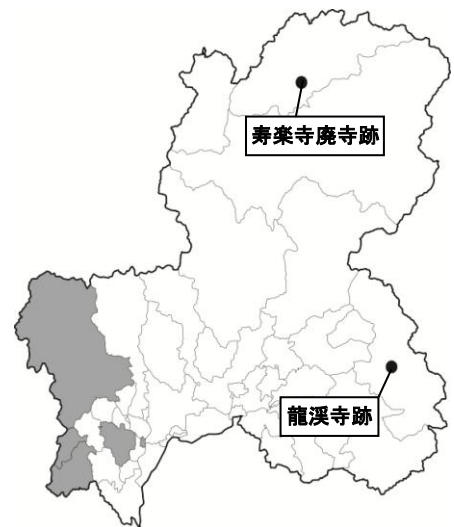
6 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査

- 対象地** 関ヶ原町・揖斐川町・大垣市、
中津川市・飛騨市・垂井町の一部
- 事業名** 岐阜県古代・中世寺院跡総合調査
- 事業主体** 岐阜県文化財保護センター
- 調査期間** 平成30年4月2日～平成31年3月22日
- 種別** 社寺跡
- 時代** 奈良時代、平安時代、中世
- 調査概要**

本年度から、県内の古代から中世に創建されたと考えられる寺院を、悉皆的に調査する岐阜県古代・中世寺院跡総合調査を開始した。本年度の調査は、主に関ヶ原町・揖斐川町・大垣市を対象に、文献を用いた基礎資料調査、現地確認調査、測量調査を行い、他に内容確認調査と遺物分布調査を実施した。

測量調査では、主に山麓に立地する寺院（22ヶ寺）を対象に、「縄張り図」を作成した。

内容確認調査は、龍溪寺跡（中津川市）と寿楽寺廃寺跡（飛騨市）において実施した。龍溪寺跡では、15～17世紀頃の石塔、時期不明の礎石建物跡や整地層などを検出した。寿楽寺廃寺跡では、中世墓の可能性のある石組みや基壇の一部の可能性のある土層を確認した。



本年度調査対象範囲及び遺跡位置



龍溪寺跡 石塔検出状況



寿楽寺廃寺跡 石組み検出状況

7 普及活用事業

1 教育普及 (1) 出前授業

学校	内容	期日	参加人数
各務原市立八木山小学校6年生	縄文時代の人々の暮らしについて、遺物を観察し当時の暮らしを考える	4月12日(木)	1クラス40人
岐阜市立常盤小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月13日(金)	2クラス63人
輪之内町立福東小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月16日(月)	1クラス24人
可児市立今渡南小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月16日(月)	2クラス66人
大垣市立興文小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月18日(水)	3クラス95人
高山市三枝小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月18日(水)	1クラス19人
郡上市立口明方小学校6年生	縄文時代の人々の暮らしについて、遺物を観察し当時の暮らしを考える	4月18日(水)	1クラス27人
岐阜市立市橋小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月19日(木)	4クラス147人
山県市立梅原小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月19日(木)	1クラス17人
郡上市立高鷲小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月19日(木)	1クラス17人
神戸町立下宮小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月19日(木)	1クラス29人
大垣市立荒崎小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月20日(金)	2クラス47人
海津市立吉里小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月20日(金)	1クラス14人
飛騨市立神岡小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月20日(金)	2クラス44人
北方町立北方南小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月20日(金)	2クラス69人
養老町立日吉小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月20日(金)	1クラス26人
岐阜市立長良西小学校6年生	縄文土器、弥生土器に触れることで当時の暮らしを考える	4月23日(月)	3クラス116人
高山市立国府小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月23日(月)	2クラス65人
郡上市立口明方小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月23日(月)	1クラス27人
郡上市立大和西小学校6年生	縄文時代の石器を観察し、当時の暮らしを考える	4月23日(月)	1クラス9人
大垣市立立新小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月24日(火)	1クラス23人
安八町立結小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月24日(火)	2クラス45人
高山市立宮小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月24日(火)	1クラス20人
岐阜市立岩野田小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月24日(火)	2クラス64人
大垣市立多良小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月25日(水)	1クラス17人
美濃市立美濃小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月25日(水)	2クラス57人
大垣市立時小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月25日(水)	1クラス9人
高山市立花里小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月25日(水)	2クラス60人
郡上市立那留小学校5・6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月25日(水)	2クラス13人
各務原市立鶴沼第二小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	4月26日(木)	3クラス109人
郡上市立明宝小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月26日(木)	1クラス8人
高山市立久々野小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	4月26日(木)	1クラス37人
大垣市立中川小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	4月27日(金)	4クラス123人
池田町立温知小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	4月27日(金)	2クラス79人
高山市立東小学校6年生	縄文時代から平安時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	4月27日(金)	2クラス82人
大野町立大野小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月1日(火)	2クラス62人
高山市立清見小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月1日(火)	1クラス25人
揖斐川町立谷汲小学校6年生	縄文土器と弥生土器、須恵器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月1日(火)	1クラス23人
山県市立いわ桜小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月2日(水)	1クラス3人
高山市立新宮小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月2日(水)	2クラス78人
大垣市立静里小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月7日(月)	2クラス80人
大野町立西小学校6年生	縄文土器と弥生土器、須恵器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月7日(月)	1クラス40人
大垣市立綾里小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月7日(月)	1クラス26人
郡上市立大和西小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月8日(火)	1クラス9人
各務原市立蘇原第二小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月9日(水)	3クラス101人
北方町立北方南小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月9日(水)	2クラス69人
下呂市立尾崎小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月9日(水)	1クラス16人
郡上市立白鳥小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月10日(木)	2クラス46人
郡上市立吉田小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月10日(木)	1クラス14人

学校	内容	期日	参加人数
海津市立吉里小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月11日(金)	1クラス14人
高山市立栞尾小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月11日(金)	1クラス14人
岐阜市立三輪南小学校6年生	縄文時代から平安時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月14日(月)	3クラス116人
大垣市立江東小学校6年生	縄文時代から平安時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月15日(火)	3クラス84人
郡上市立高鷲北小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月15日(火)	1クラス13人
郡上市立明宝小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月16日(水)	1クラス8人
郡上市立八幡小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月16日(水)	2クラス55人
高山市立北小学校6年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	5月17日(木)	3クラス116人
安八町立名森小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月17日(木)	3クラス96人
大垣市立赤坂小学校6年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	5月17日(木)	2クラス82人
下呂市立萩原小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月18日(金)	2クラス52人
川辺町立川辺小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月18日(金)	1クラス18人
大垣市立宇留生小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月19日(土)	3クラス92人
大垣市立墨俣小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月21日(月)	2クラス41人
大垣市立小野小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	5月22日(火)	4クラス136人
郡上市立大和第一北小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月23日(水)	1クラス8人
郡上市立高鷲小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月23日(水)	1クラス17人
大垣市立東小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	5月25日(金)	3クラス85人
県立海津明誠高等学校2年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、土器製作技術の変化や工夫に気付く	5月28日(月)	3クラス100人
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	5月31日(木)	20人
本巣市立席田小学校6年生	上保本郷遺跡から出土した遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月1日(金)	2クラス51人
岐阜市立梅林小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月2日(土)	1クラス39人
大垣市立北中学校1年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	6月5日(火)	3クラス101人
恵那市立串原小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月6日(水)	1クラス5人
恵那市立串原中学校2年生	鎌倉時代から室町時代の遺物を観察し、現代の生活とのつながりを見つける	6月6日(水)	1クラス4人
可見市・御嵩町中学校組合立共和中学校1年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月8日(金)	2クラス62人
本巣市立真桑小学校6年生	縄文時代から平安時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月11日(月)	3クラス114人
県立不破高等学校3年生	荒尾南遺跡調査成果と考古学的な土器観察視点を学ぶ	6月12日(火)	1クラス36人
本巣市立土貴野小学校6年生	縄文時代から平安時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月13日(水)	1クラス30人
高山市立朝日小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月15日(金)	1クラス14人
土岐市立土岐津中学校1年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	6月18日(月)	3クラス84人
岐阜市立岐阜小学校6年生	縄文土器と弥生土器を観察し、当時の生活の違いを考える	6月19日(火)	2クラス42人
本巣市立糸貫中学校1年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月20日(水)	4クラス121人
郡上市立相生小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月22日(金)	1クラス31人
郡上市立和良小学校・西和良小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月22日(金)	1クラス15人
大垣市立星和中学校1年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	6月25日(月)	6クラス187人
池田町立宮地小学校6年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月26日(火)	1クラス11人
郡上市立大和南小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月28日(木)	1クラス21人
郡上市立川合小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	6月28日(木)	1クラス14人
大垣市立南中学校1年生	縄文時代から古墳時代の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	7月3日(火)	4クラス111人
高山市立江名子小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	7月3日(火)	2クラス43人
岐阜市立岩野田北小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	9月20日(木)	3クラス93人
東海学院大学人間関係学部心理学科	縄文時代から中世の遺物を観察し、郷土の文化財に対する理解を深める	9月27日(木)	1クラス90人
郡上市立白鳥中学校1年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	10月2日(火)	3クラス93人
郡上市立大和北小学校6年生	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	10月2日(火)	1クラス24人
大垣市立上石津中学校1年生	弥生土器と須恵器を観察し、その違いから古墳時代の特徴を考える	10月9日(火)	2クラス41人
岐阜市立藍川北中学校1～3年生	縄文土器や石器を観察し、縄文時代の人々の生活を理解する	10月13日(土)	希望者16人
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	10月18日(木)	20人
垂井町立岩手小学校	縄文時代から中世の遺物を観察し、ふるさとの歴史に興味・関心を持つ	12月8日(土)	1クラス18人
各務原市立尾崎小学校社会科クラブ	鎌倉時代から室町時代の遺物を観察し、現代の生活とのつながりを見つける	1月17日(木)	20人
養老町立広幡小学校5年生	旧徳山村から出土した縄文土器や石器を観察し、当時の暮らしを考える	2月12日(火)	1クラス11人

延べ100校175クラス5028名(美濃地域85校、飛騨地域15校)

(2) 講師派遣

派遣先	内容	期日	参加人数
白川町中央公民館	古代の人々の土器・石器に触れる	10月13日(土)	23名
岐阜市歴史博物館	整理作業体験講座体験!はくつされた出土品をさぐる	10月21日(日)	11名
飛騨市教育委員会	寿楽寺廃寺跡の調査	11月17日(土)	65名
岐阜県建設技術協会(岐阜圏域)若手技術職員研修会	埋蔵文化財から見たふるさと岐阜の歴史	11月28日(水)	36名

(3) タイムスリップ探検隊

体験者	体験内容	場所	期日	参加人数
小学校高学年児童・保護者	発掘体験、土器洗い、拓本体験	中切上野遺跡(高山市)	7月24日(火)	18名

(4) 総合教育センター研修(授業に活かす考古学講座)

対象	内容	期日	参加人数
小中高等学校及び特別支援学校の教員	遺跡から出土した本物の土器・石器、発掘調査の成果などを、授業で活かす具体的な方法を紹介するとともに、実際に土器や石器に触れる活動をとおして、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを体験し、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る。	8月1日(水)	18名

(5) バックヤードツアー

対象	内容	期日	参加人数
小学生以上の方	文化財保護センターの施設や業務及び所蔵する埋蔵文化財を見学したり、業務(整理等作業)を体験する。	8月21日(火) 8月22日(水)	19名

(6) 見学・体験の受け入れ

見学者	内容	期日	参加人数
高山市立国府小学校1年生及び引率教員	広瀬城跡の説明	5月17日(木)	85名
飛騨地区小社研	中切上野遺跡発掘現場の見学	8月6日(月)	21名

2 生涯学習

(1) 発掘調査報告会

遺跡名	発表者(所属)	会場	期日	参加人数
政田仙道上遺跡(本巣市)	佐竹正憲(当センター職員)	岐阜県図書館(岐阜市)	10月20日(土)	97名
岐阜城跡(岐阜市)	高橋方紀氏(岐阜市教育委員会)			
大杉西遺跡(関市)	伊藤聡氏(関市文化財保護センター)			

(2) 現地公開・見学会

遺跡名	内容	期日	参加人数
龍溪寺跡(中津川市)	発掘現場を公開し、遺跡の見学、遺跡概要の説明及び遺物の展示・紹介を行う。	7月14日(土)	17名
寿楽寺廃寺跡(飛騨市)		8月25日(土)	25名
中切上野遺跡(高山市)		10月27日(土)	95名

3 啓発

(1) 展示

名称	展示内容	会場	開催期間
サテライト展示	「大垣市内の発掘調査速報展」	大垣市サイトピアセンター(大垣市)	前年度~4月18日(水)
	「上切町の歴史 弥生時代の集落 ~ウバガ平遺跡~」	上切町公民館(高山市)	4月16日(月)~3月8日(金)
	「食の考古学展 ~調理に用いた道具~」	大垣市サイトピアセンター(大垣市)	4月20日(金)~8月8日(水)
	「食の考古学展 ~たくわえる~」	大垣市サイトピアセンター(大垣市)	8月9日(木)~12月12日(水)
	「食の考古学展 ~たべる~」	大垣市サイトピアセンター(大垣市)	12月14日(金)~3月24日(日)
	「見えます!古墳の出土品~南高野古墳出土品を中心に~」	岐阜県図書館(岐阜市)	1月12日(土)~3月10日(日)
本館展示	政田仙道上遺跡、小洞古墳群、赤保木遺跡、高畑遺跡、柿田遺跡等の出土遺物や解説パネル展示	岐阜県文化財保護センター(岐阜市)	年間を通して展示(1回展示替え)
飛騨駐在事務所展示	丸山遺跡やたのもと遺跡の縄文土器と解説パネルを展示	岐阜県文化財保護センター飛騨駐在事務所(高山市)	年間を通して展示(1回展示替え)
飛騨国府事務所展示	「飛騨の土偶」	岐阜県文化財保護センター飛騨国府事務所(高山市)	11月3日(土)~11月4日(日)

(2) ホームページ

内容	URL	更新
センター調査だよりや考古学コラム「きずな」等による発掘調査事業の情報提供、現地見学会などの各種イベントの案内及び報告、保管資料の活用や出前授業に関する情報を掲載	https://www.pref.gifu.lg.jp/kyoiku/bunka/bunkazai/27221/	随時

(3) 年報

内容	刊行
毎年度の発掘調査事業、普及活用事業及び研究・支援事業を年報として記録するとともに、関係機関へ配布し、ホームページに掲載	平成29年度の『年報18』は、平成30年3月31日に刊行及びホームページに掲載

8 研究・支援事業

(1) 出土品等の貸出

内容	実績
公共機関等からの要請に基づき、出土品や関係資料を貸し出すことにより、その活用を図る	出土品の貸出：12件 出土品の調査等：14件 写真資料等の貸出：17件 (3月8日現在)

(2) 報告書・図書等の保管

蔵書数	受け入れ登録数
発掘調査報告書51,785冊、その他の図書15,546冊、野村文庫6,660冊	発掘調査報告書1,236冊・その他の図書489冊(3月8日現在)

(3) 研究紀要

目的	掲載内容
当センターの所掌事務である「埋蔵文化財の研究」、「埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行」（岐阜県立学校以外の教育機関の設置に関する規則第二条第一項第一号及び第五号）の業務について、「研究紀要」を作成することで成果を広く県民に還元し、本県文化の振興に寄与する。	『岐阜県文化財保護センター研究紀要』第4号（センターホームページに掲載） 磯貝龍志・小林新平・山本厚美・長谷川幸志・加中雅章「北方京水遺跡周辺採取資料の報告<資料報告>」

9 普及活用事業の記録



出前授業



タイムスリップ探検隊（飛騨）（発掘体験、土器洗い体験）



現地見学会（中切上野遺跡）



バックヤードツアー



サテライト展示（大垣市）



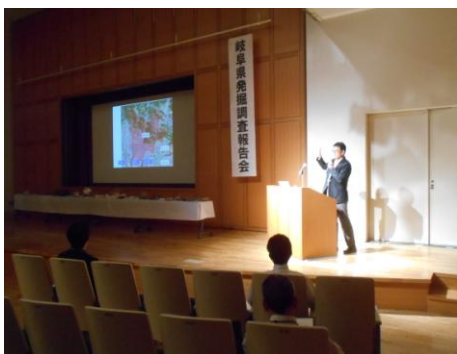
サテライト展示（岐阜市）



飛騨国府事務所展示（高山市）



講師派遣（飛騨市）



発掘調査報告会



授業に活かす考古学講座

平成30年度 年報

平成31年3月31日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

E-mail : c21807@pref.gifu.lg.jp

URL <https://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/ken-gaiyo/soshiki-annai/kankyo-seikatsu/bunkazai/>